

■ ごあいさつ

本年度も皆様のご協力を得て、各地でワークショップや啓発活動、講演などを行うことができました。圧巻は日本赤十字社医療センターのオープンホスピタルで行った「ひびきあうハート Tokyo 2023」。子どもからシニアまで200名以上がワークショップに参加しハートを制作。全国から集められた分と合わせ、実に800枚の小さなハートが、エントランスや中庭に面するガラスの上で大きなハートに生まれ変わりました。東京での成功は、私たちの活動を多くの方に知っていただく良い機会になりました。来年度はまた新たな地域にコミュニールの活動を伝えていくことを計画しています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



理事長 永廣信治

■ 会員の内訳

個人正会員

法人正会員

14

3

個人賛助会員

法人・団体賛助会員

17

5

■ 活動資金の内訳

寄附金 ¥1,302,000

[団体] 5件 (敬称略)

BNP パリバ証券株式会社
株式会社メディカ・ライン
永和信用金庫
ほか

70.5%

[個人] 32件

会員入会金・会費 ¥545,000

雑収益・利息 ¥12

29.5%

合計 ¥1,847,012

■ SNS @communart.jp

Instagram



Facebook



■ 活動内容

4月

南海病院（鳴門市）ワークショップ

南海病院で入院患者様を対象としたワークショップを実施しました。初めての試みとして、まる・さんかく・しかくの幾何学模様をモチーフに制作。患者10名、作業療法士と心理師6名が参加され、35枚ほどの彩り豊かな作品を制作し、病棟を飾りました。



永和信用金庫様（大阪市）新入行員研修

本年度永和信用金庫に入行した17名に、新人研修でマスキングテープによるホスピタルアートを体験していただきました。昨年はオンラインでの実施でしたが、今年は対面で、色とりどりの葉がにぎやかな大木を会議室に制作しました。



5月

第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（名古屋市）

永廣信治理事長と永廣佳理事がポスター発表を行いました。演題は「マスキングテープがつかなく病院・地域・企業—ホスピタルアートの新たなかたち—」で、コミュニールとして実施した愛染橋病院と熊本大学病院の取り組みを紹介しました。



「ひびきあうハート Tokyo 2023」STEPI ワークショップ（BNP パリバ・グループ日本法人オフィス：東京都）

今年の「ひびきあうハート」プロジェクトの第一弾として、BNP パリバ・グループでワークショップを実施しました。今年はオンラインに加え、初めてオフィスでの対面ワークショップも叶い、社員の皆様と直接交流できました。ご家族も含めて延べ80名ほどが参加し、アーティスト西村公一氏の指導のもと、2日間で200枚ほどの赤いハートを作成しました。完成品は一時オフィスに展示して、ホスピタルアートのイメージを持っていただきました。



7月

大阪リハビリテーション病院ワークショップ

賛助会員である中谷稔副院長の指揮下で職員20数名が参集し、小さなハートを組み合わせたクローバーを制作して待合スペースに飾りました。また同院のリハ室にて、亀井理事がフランスから持ち帰ったデジタルアート「イリュミナル」の試写と解説が行われました。



■ 報道

◇ 2023.10.15 「病院に安らぎを ホスピタルアートのワークショップ 東京」『NHK ニュース (首都圏ニュース)』

■ 学会発表・講演・寄稿

◇ 2023.5.13 永廣佳・永廣信治 「マスキングテープがつなぐ病院・地域・企業—ホスピタルアートの新たなかたち—」第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会ポスター発表

◇ 2023.7 永廣信治・永廣佳 「マスキングテープを用いたホスピタルアートの意義と展開」(作業療法を深める 第80回)『作業療法ジャーナル』vol.57 no.7, pp.714-719.

◇ 2023.10.29 第45回日本心身医学会中国・四国地方会・田尾伊津美・永廣佳 「南海病院におけるマスキングテープアートの取り組みについて」一般演題口演(『抄録集』p.17)

・永廣信治 (座長: 和泉唯信) 「人生100年を楽しく生き抜く心技体」ランチョンセミナー(『抄録集』pp.35-36)

◇ 2024.2.18 永廣佳 「マスキングテープでつながる医療・アート・社会」・永廣信治 「アートと脳」第84回癒しの環境研究会(『年会誌』2024, Vol.29 No.1, pp.84-92.)

■ 2024年度の活動予定

○ 2024.5-7 旭川にて「ひびきあうハート Asahikawa 2024」病院職員・市民向けワークショップ

○ 2024.5.11/6.10 BNP パリバ社員・家族ワークショップ (オンライン+対面)

○ 2024.7.21 「ひびきあうハート Asahikawa 2024」ワークショップ (対面+オンライン)

○ 2024.8.2-4 旭川赤十字病院にて「ひびきあうハート」現場制作

○ 2024 秋 北里大学病院ホスピタルアート制作

○ 愛染橋病院ホスピタルアート制作

○ オンラインセミナー (医学系/アート系)

○ ワークショップ開催、学会発表、講演等

■ 事務局より

・現会員の方でご住所・ご連絡先等に変更がある方は速やかに事務局までお知らせください。
・日本赤十字社医療センター(東京)で実施した「ひびきあうハート Tokyo 2023」プロジェクトのショートムービーを作成いたしました。よろしければご覧ください。



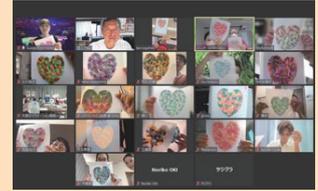
<https://www.youtube.com/watch?v=14rxKUOjB8I>

2024年度も継続的なご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

8月

「ひびきあうハート Tokyo 2023」STEP2 ワークショップ (ハイブリッド)

東京・広尾の日本赤十字社医療センターで制作する「ひびきあうハート」に向けて、作品のパーツとなる小さなハートを作るワークショップを実施しました。当法人のメンバーに加え、本プロジェクトに関心を持たれた方が全国から50名ほど参加し、徳島の対面会場とオンライン会場の双方で色とりどりのハートを作りました。



10月

「ひびきあうハート Tokyo 2023」STEP3 WS + 現地制作 (日本赤十字社医療センター、東京都渋谷区)

日本赤十字社医療センター主催の「オープンホスピタル」の一環として、院内の会場でハート作りのワークショップを開催し、西村公一氏の指導のもと、作ったハートをガラス面に貼ってホスピタルアートを作りました。延べ233名もの方に来場いただき、STEP1と2で用意した分も含め約800枚の小ハートを、三種類の作品(立体ハート、エントランスの大型ハート、待合室の7つの中型ハート)として仕上げました。



第45回日本心身医学会中国・四国地方会 (徳島市)

永廣信治理事長がランチョンセミナー講演「人生100年を楽しく生き抜く心技体」を、田尾伊津美正会員・永廣佳理事・本田壮一正会員、および賛助会員数名が一般演題の口演を行いました。またカモ井加工紙株式会社によるm+の展示の横で、マスキングテープを使ったミニワークショップも開催しました。



11月

徳島クワニスクラブ例会での講演+WS (徳島市)

徳島クワニスクラブの例会にて永廣佳理事が「病院とアートについて」の演題で講演とミニワークショップを行いました。



2月

第84回癒しの環境研究会 (オンライン) での講演

皆様のご協力のおかげで充実した活動ができました。ご助力に感謝申し上げます。

わたしたちと一緒にアートで社会をサポートしませんか? -3つのコースのご提案-

♥ 賛助会員コース



本法人の様々な活動にご参加いただけます。制作のほか、セミナー等により知見を深めていただく機会もご用意しております。

♥ 寄附コース



本法人のホスピタルアート活動にご寄附いただくことで、病院等への応援につながります。少額から受け付けております。

♥ 企業・団体の社会貢献コース

SDGsにもつながる本法人の活動は、楽しみながらできる社会貢献として好評です。ご希望に沿う方法を提案させていただきますので、ぜひ事務局までご相談ください。